

DWS ロシア・ルーブル債券投信

(毎月分配型) / (年2回決算型)

交付運用報告書 追加型投信/海外/債券 作成対象期間 (2022年4月26日~2022年10月25日)

(毎月分配型)

第166期 (決算日: 2022年5月25日) 第168期 (決算日: 2022年7月25日) 第170期 (決算日: 2022年9月26日)

第167期 (決算日: 2022年6月27日) 第169期 (決算日: 2022年8月25日) 第171期 (決算日: 2022年10月25日)

(年2回決算型)

第29期 (決算日: 2022年10月25日)

第171期末 (2022年10月25日)	
(毎月分配型)	
基準価額	534円
純資産総額	743百万円
第166期~第171期 (2022年4月26日~2022年10月25日)	
騰落率	△79.4%
分配金合計	0円

第29期末 (2022年10月25日)	
(年2回決算型)	
基準価額	1,687円
純資産総額	440百万円
第29期 (2022年4月26日~2022年10月25日)	
騰落率	△79.4%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「DWS ロシア・ルーブル債券投信」は、2022年10月25日に毎月分配型は第171期、年2回決算型は第29期の決算を行いました。当ファンドは、主として、ロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当(作成)期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号: 03-5156-5108

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

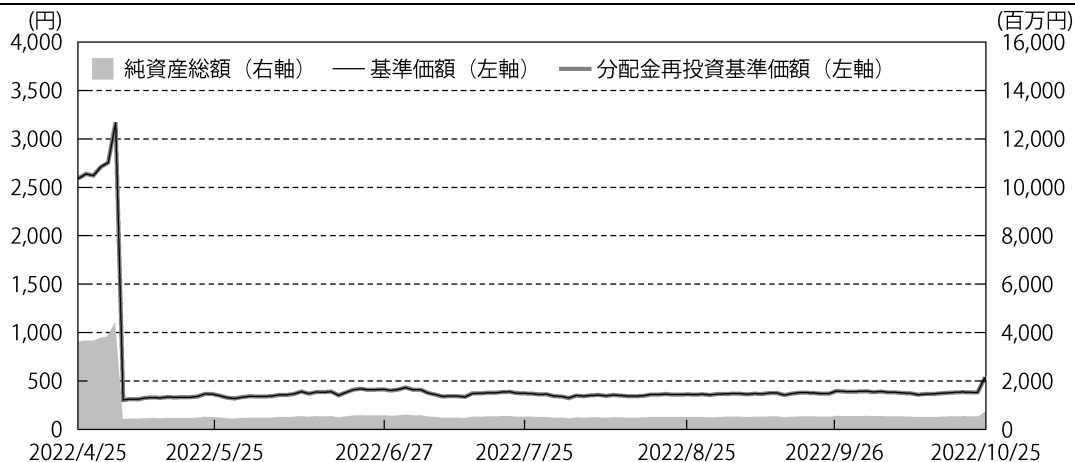
*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【毎月分配型】

■基準価額等の推移について

（2022年4月26日～2022年10月25日）



第166期首：2,592円

第171期末：534円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△79.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。マザーファンドの主要投資対象であるDWS ロシア・ボンド・ファンドにおいて、ロシアルーブル建のロシア国債等が実質ゼロ評価となったこと等を受けて、基準価額は大きく下落しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第166期～第171期 2022年4月26日～2022年10月25日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	3円	0.442%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は762円です。
(投 信 会 社)	(0)	(0.040)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.386)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.017)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.080	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(0)	(0.080)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	4	0.522	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

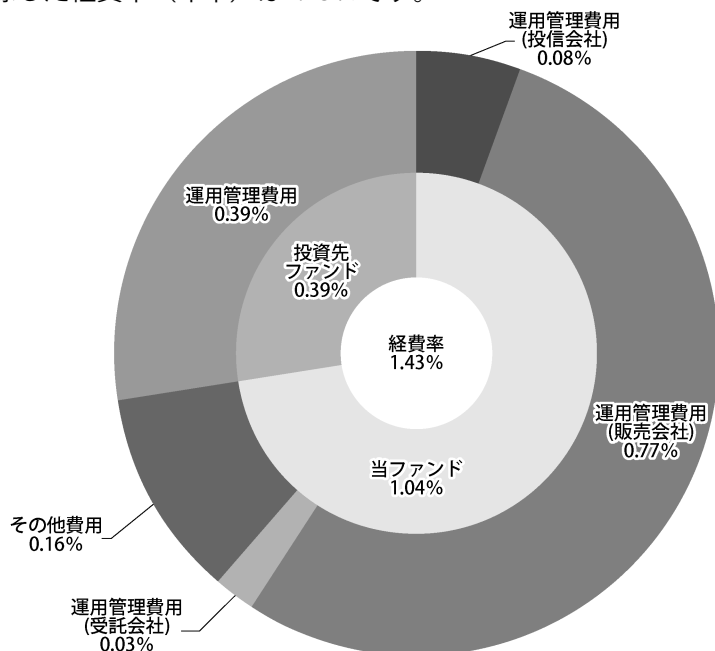
(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）**○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.43%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.43
①当ファンドの費用の比率	1.04
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

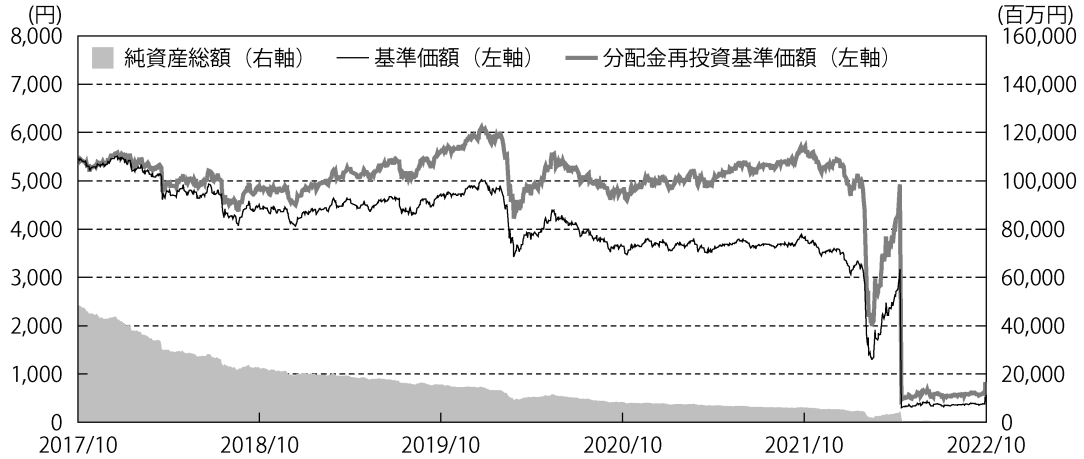
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

（2017年10月25日～2022年10月25日）

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2017年10月25日	2018年10月25日	2019年10月25日	2020年10月26日	2021年10月25日	2022年10月25日
基準価額	(円)	5,456	4,418	4,684	3,643	3,811	534
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	420	420	420	420	140
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△11.7	16.4	△13.9	17.3	△85.3
純資産総額	(百万円)	48,697	22,275	15,507	8,253	6,048	743

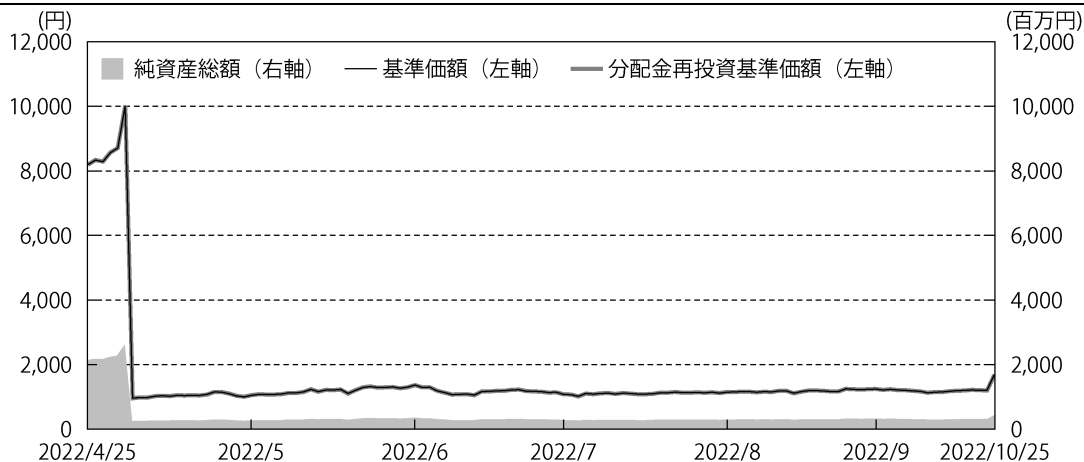
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じてDWS ロシア・ボンド・ファンド及びDWS フォルザーゲ・ゲルトマルクトに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【年2回決算型】

■基準価額等の推移について

（2022年4月26日～2022年10月25日）



第29期首：8,194円

第29期末：1,687円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△79.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。マザーファンドの主要投資対象であるDWS ロシア・ボンド・ファンドにおいて、ロシアルーブル建のロシア国債等が実質ゼロ評価となったこと等を受けて、基準価額は大きく下落しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2022年4月26日～2022年10月25日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	10円	0.408%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は2,410円です。
（投 信 会 社）	（ 0）	（0.006）	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 9）	（0.386）	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 0）	（0.017）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.081	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	（ 0）	（0.000）	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用・印刷費用等）	（ 2）	（0.080）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	12	0.489	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

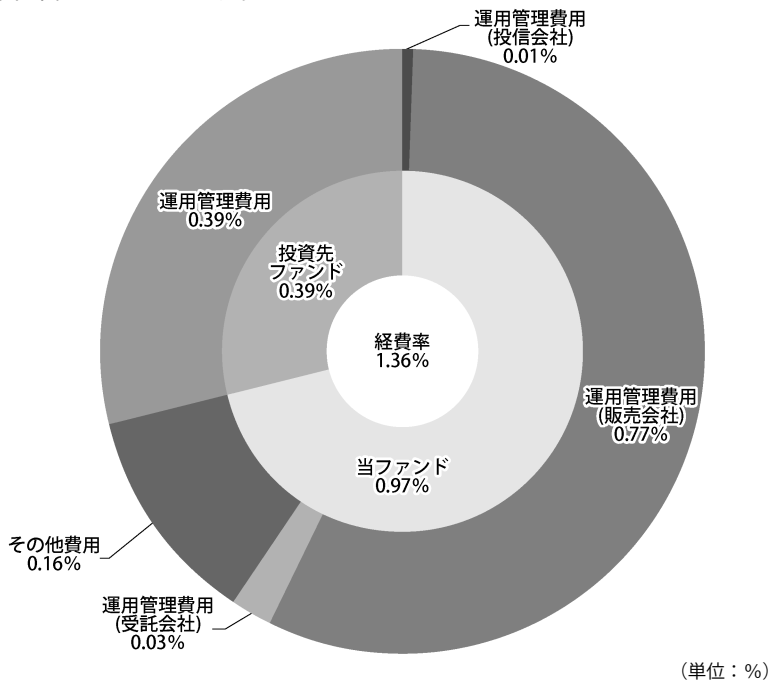
(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）**○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.36%です。



経費率 (①+②)	1.36
①当ファンドの費用の比率	0.97
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

（2017年10月25日～2022年10月25日）

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2017年10月25日	2018年10月25日	2019年10月25日	2020年10月26日	2021年10月25日	2022年10月25日
基準価額 (円)	11,201	9,881	11,522	9,928	11,659	1,687
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△11.8	16.6	△13.8	17.4	△85.5
純資産総額 (百万円)	23,677	10,724	7,026	4,384	3,483	440

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じてDWS ロシア・ボンド・ファンド及びDWS フォルザーゲ・ゲルトマルクトに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

(2022年4月26日～2022年10月25日)

ロシアとウクライナの紛争が激化する中、欧米諸国は対ロシア制裁を強化する動きが続いています。金融市場においては、欧米諸国の対ロシア経済制裁やロシア当局による資本規制を受けて、ロシアルーブルやロシア債券の流動性が著しく低下しています。ロシアのインフレ率については、2022年前半に大幅に上昇した後、緩やかな鈍化傾向にあり、2022年9月は前年比13.68%となっています。ただし、ロシア中央銀行（中銀）目標である4.0%を大きく上回るなど依然として高い水準となり、経済活動の重石となっています。中銀は景気支援のため政策金利を段階的に引き下げ、2022年9月には7.5%としました。為替市場では、ロシアの資本規制等を背景に、ロシアルーブルは対円、対米ドルともに上昇しました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

(2022年4月26日～2022年10月25日)

【毎月分配型】／【年2回決算型】

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主としてロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

(DWS ロシア・ルーブル債券投信・マザーファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、主としてロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ルクセンブルグ籍外国投資信託であるDWS ロシア・ボンド・ファンドおよびルクセンブルグ籍外国投資信託であるDWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトを主要投資対象とし、主としてロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とするDWS ロシア・ボンド・ファンドの組入比率は高位に保ちました。

(DWS ロシア・ボンド・ファンド)

ポートフォリオについては、主にロシアの国債、準国債の組み入れを継続しました。

(DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト)

変動利付債券を主に組み入れ運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について

(2022年4月26日～2022年10月25日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■分配金について

【毎月分配型】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

(1万口当たり・税引前)

	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
	2022年4月26日～ 2022年5月25日	2022年5月26日～ 2022年6月27日	2022年6月28日～ 2022年7月25日	2022年7月26日～ 2022年8月25日	2022年8月26日～ 2022年9月26日	2022年9月27日～ 2022年10月25日
当期分配金	－円	－円	－円	－円	－円	－円
(対基準価額比率)	－%	－%	－%	－%	－%	－%
当期の収益	－	－	－	－	－	－
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	2,976	2,976	2,976	2,976	2,976	2,976

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【年2回決算型】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

(1万口当たり・税引前)

	当 期
	2022年4月26日～2022年10月25日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	14,311

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【毎月分配型】／【年2回決算型】

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主としてロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

(DWS ロシア・ルーブル債券投信・マザーファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主としてロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。各投資対象ファンドにおける運用状況は以下の通りです。

(DWS ロシア・ボンド・ファンド)

ロシアは、物価高が個人消費を抑制していることや、欧米からの経済制裁の影響で、長期的な景気後退となることが予想されます。財政状況についても、国防費の増加により急速に悪化しており、ロシアは赤字穴埋めのため、エネルギー業界への増税や、国内での国債発行を実施していますが、今後石油・天然ガス収入が減少すること等を鑑み、財政は一段の悪化が見込まれます。金融市場においては、欧米からの経済制裁の影響でロシアは債務不履行（デフォルト）状態に陥ったと報じられていますが、ロシア側はデフォルトを認めていない状況で、ロシア市場は先行き不透明な状況が続く見込みです。運用方針としましては、市場動向を注視しながら、国債および準国債等を中心とするポートフォリオの構築に引き続き努め、安定的な金利収入の獲得を目指す方針です。ただし、足元では、市場の流動性低下によりロシア債券やロシアルーブルの取引が困難となっていることや、ロシアは海外投資家への元利払いが困難となっていることから、方針に沿った運用が難しいことが想定されます。ロシアを取り巻く状況は流動的となっており、動向を注視していく方針です。

(DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト)

ユーロ建短期金融商品等を投資対象とし、1ヵ月E U R I B O Rをベンチマークとして安定的な収益の確保を目指します。

お知らせ

2022年6月21日付で当ファンドの投資信託約款において、信託報酬率が年10,000分の111（税抜）から10,000分の111以内（税抜）となりました。

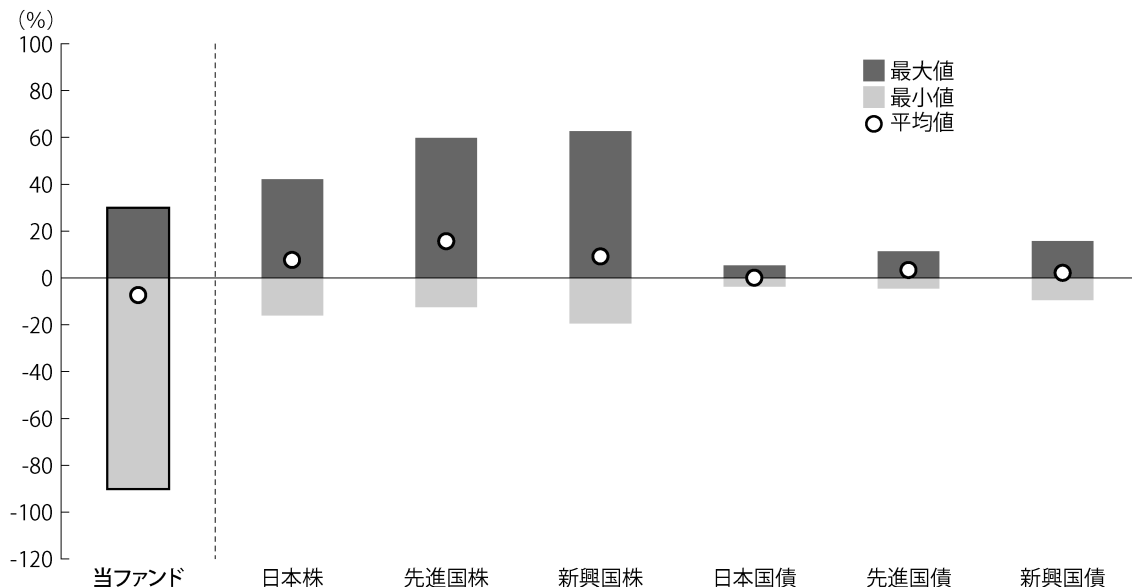
加えて同日付で、委託会社の配分を0.01%（税抜）に一時的に引き下げ、またマザーファンドを通じて投資対象とする投資信託である「DWS ロシア・ボンド・ファンド」が信託報酬を0%に変更いたしました。そのため、2022年6月21日以降の当ファンドの実質的な負担は「最大年率1.014%（税込）」となっております（本書作成日時点）。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年5月29日から2028年4月25日まで	
運用方針	インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	DWS ロシア・ルーブル債券投信・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	DWS ロシア・ルーブル債券投信・マザーファンド	ルクセンブルグ籍外国投資信託DWS ロシア・ボンド・ファンド及びルクセンブルグ籍外国投資信託DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクトに投資を行うことを基本とします。原則として、ロシアの国債及び準国債等を主要投資対象とする投資信託証券の組入比率は高位に保つことを基本とします。
運用方法	主として、DWS ロシア・ルーブル債券投信・マザーファンド受益証券への投資を通じて、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
分配方針	<p>毎決算時（毎月分配型は原則として毎月25日。年2回決算型は原則として毎年4月25日及び10月25日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2017年10月末～2022年9月末）

【毎月分配型】



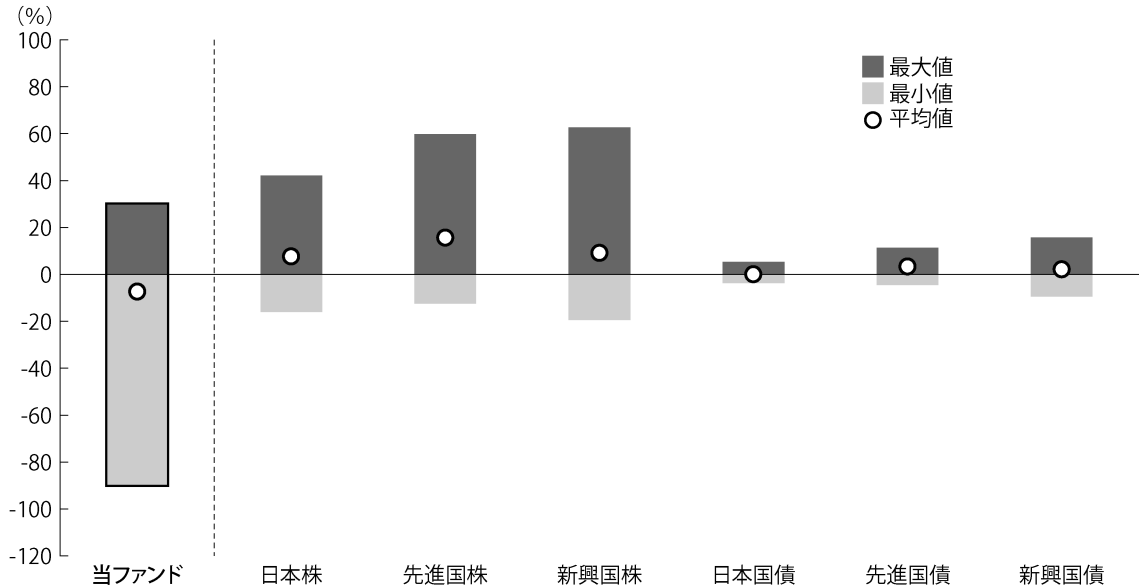
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	△7.3	7.7	15.7	9.2	0.1	3.4	2.2
最大値	30.0	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	15.7
最小値	△90.1	△16.0	△12.4	△19.4	△3.7	△4.5	△9.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【年2回決算型】



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	△7.3	7.7	15.7	9.2	0.1	3.4	2.2
最大値	30.2	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	15.7
最小値	△90.2	△16.0	△12.4	△19.4	△3.7	△4.5	△9.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

* 2017年10月～2022年9月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- T O P I X（東証株価指数）の指数値及びT O P I Xにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等T O P I Xに関するすべての権利・ノウハウ及びT O P I Xにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、T O P I Xの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C Iに帰属します。また、M S C Iは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- N O M U R A - B P Iは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はN O M U R A - B P Iを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

【毎月分配型】

■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

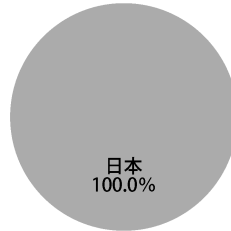
項 目	第171期末
	2022年10月25日
DWS ロシア・ルーブル債券投信・マザーファンド	100.0%

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

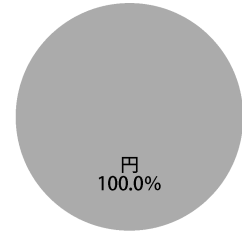
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第166期末	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末
	2022年5月25日	2022年6月27日	2022年7月25日	2022年8月25日	2022年9月26日	2022年10月25日
純 資 産 総 額	505,994,766円	576,844,105円	517,196,740円	502,553,488円	551,085,862円	743,223,804円
受 益 権 総 口 数	13,926,944,027口	13,926,944,027口	13,926,944,027口	13,926,944,027口	13,926,944,027口	13,926,944,027口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	363円	414円	371円	361円	396円	534円

当作成期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

【年2回決算型】

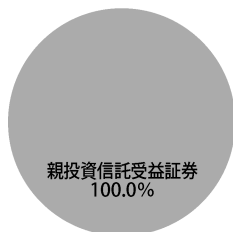
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

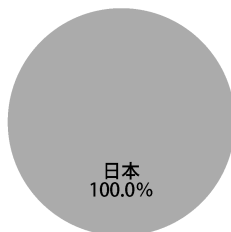
項 目	当 期 末
	2022年10月25日
DWS ロシア・ルーブル債券投信・マザーファンド	100.0%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

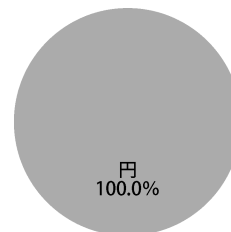
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

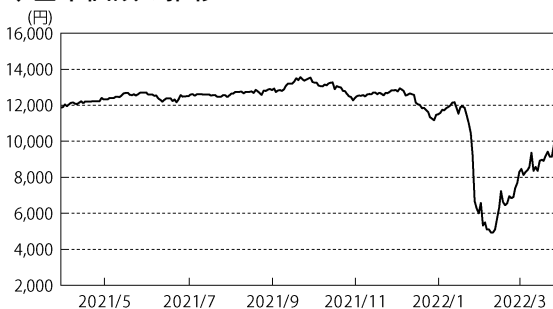
項 目	当 期 末
	2022年10月25日
純 資 産 総 額	440,581,383円
受 益 権 総 口 数	2,610,896,532口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	1,687円

当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

■組入上位ファンドの概要

DWS ロシア・ルーブル債券投信・マザーファンド（2021年4月27日～2022年4月25日）

◆基準価額の推移

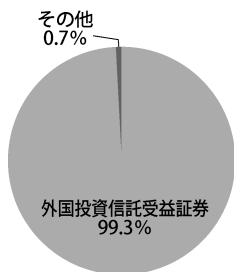


◆上位10銘柄

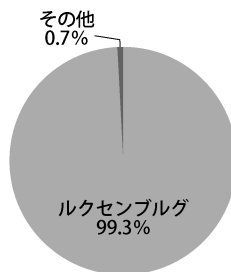
	銘柄名	比率
1	DWS ロシア・ボンド・ファンド	99.0%
2	DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト	0.3%
組入銘柄数		2銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

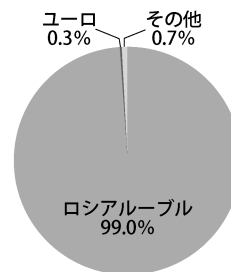
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用 (保管費用)	0円 (0)	0.001% (0.001)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 証券投資信託管理事務等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	0	0.001	
期中の平均基準価額は11,663円です			

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

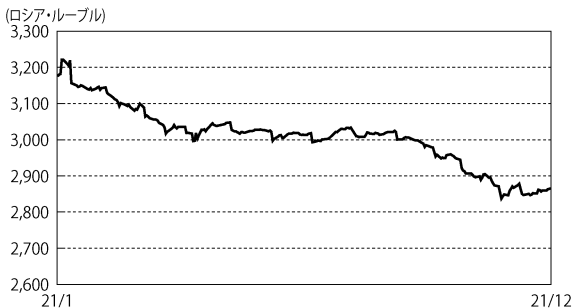
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (a) その他費用（その他）にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

DWS ロシア・ボンド・ファンド (2021年1月1日～2021年12月31日)

◆基準価額の推移



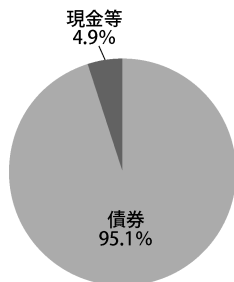
◆上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	通貨	比率
1	Russia 12/03.02.27 Ser.26207RFMS	8.1500%	ロシアルーブル	9.2%
2	Russia 16/27.05.26 Reg S	4.7500%	米ドル	6.7%
3	Russia 15/17.09.31 Ser.26218RFMS	8.5000%	ロシアルーブル	6.6%
4	Russian Federation 19/16.03.39	7.7000%	ロシアルーブル	5.3%
5	Russia 17/23.03.33 Ser.26221RFMS	7.7000%	ロシアルーブル	4.2%
6	Russia 13/19.01.28 Ser.26212RFMS	7.0500%	ロシアルーブル	4.0%
7	RZD Capital/Russian Railways 16/07.10.23 LPN	9.2000%	ロシアルーブル	3.9%
8	Rushydro Finance 17/28.09.22 LPN	8.1250%	ロシアルーブル	3.3%
9	Russia 13/25.01.23 Ser.26211RFMS	7.0000%	ロシアルーブル	3.3%
10	RZD Capital 19/23.05.27 LPN	2.2000%	ユーロ	3.3%
組入銘柄数			33銘柄	

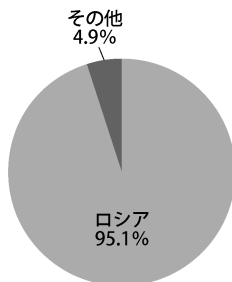
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

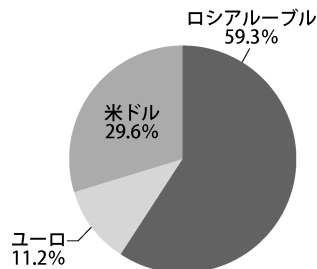
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) DWS ロシア・ボンド・ファンドは、為替予約取引により実質的にルーブル建になっております。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

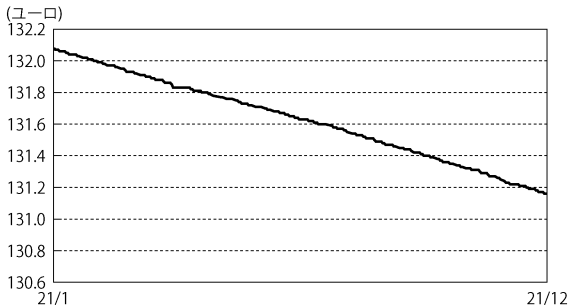
◆費用の明細

項目	
支払利息	△618,690.77ロシア・ルーブル
委託者報酬	△41,655,653.45
その他費用	△535,652.86
合計	△42,809,997.08

(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、年間総額の表示とさせていただきます。

DWS フォルザーゲ・ゲルトマルクト (2021年1月1日~2021年12月31日)

◆基準価額の推移



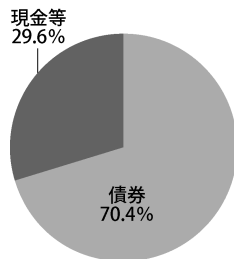
◆上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	通貨	比率
1	SAP 18/10.03.22	0.2500%	ユーロ	1.2%
2	Nationwide Building Society 15/03.06.22 MTN	1.1250%	ユーロ	1.0%
3	ASB Finance (London Branch) 17/10.06.22 MTN	0.5000%	ユーロ	1.0%
4	OP Yrityspankki 17/13.06.22 MTN	0.1650%	ユーロ	1.0%
5	Siemens Financieringsmaatschappij 20/05.06.22 MTN	0.1250%	ユーロ	1.0%
6	Toyota Motor Finance 19/10.01.22 MTN	0.2500%	ユーロ	1.0%
7	Crédit Mutuel Home Loan SFH 16/12.09.22 MTN PF	0.3750%	ユーロ	0.9%
8	Société Générale 19/27.05.22 MTN	0.0000%	ユーロ	0.9%
9	BMW Finance 14/05.09.22 MTN	1.2500%	ユーロ	0.9%
10	Caisse Amortism. Dette Soc. 12/25.10.22 MTN	2.5000%	ユーロ	0.8%
組入銘柄数			117銘柄	

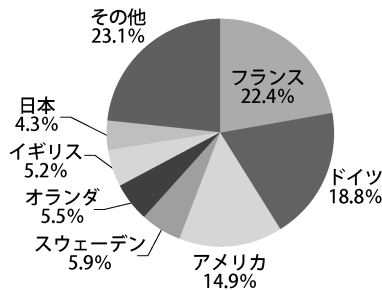
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

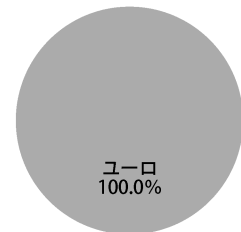
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆費用の明細

項目	
支払利息	△1,051,919.98ユーロ
委託者報酬	△1,225,485.08
その他費用	△63,535.01
合計	△2,340,940.07

(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、年間総額の表示とさせていただきます。

■<ご参考> 用語の解説

用 語	内 容
運 用 報 告 書	投資信託がどのように運用され、その結果どうなったかを決算ごとに受益者（投資家）に報告する説明書です。この中では基準価額、分配金の状況や今後の運用方針などが詳しく説明されています。
ベビーファンドとマザーファンド	受益者（投資家）のみなさまが取得する投資信託（ファンド）を「ベビーファンド」といい、ベビーファンドの資金をまとめて実質的に運用するためのファンドを「マザーファンド」といいます。マザー（親）ファンドとベビー（子）ファンドによって構成されているため、ファミリーファンド方式と呼ばれています。
純 資 産 総 額	投資信託は株式や公社債等の値動きのある有価証券に投資します。この有価証券を時価で評価し、株式や公社債等から得られる配当金や利息等の収入を加えた資産の総額から、ファンドの運用に必要な費用等を差し引いた金額のことです。
収 益 分 配 金	投資信託の決算が行われた際に受益者（投資家）に支払われる金銭を「分配金」または「収益分配金」といいます。運用によって得た収益を分配するもので、株式の配当金に相当します。またファンドによっては分配金がその都度支払われるタイプと分配金を再投資するタイプがあります。
元 本 払 戻 金 (特 別 分 配 金)	受益者（投資家）が株式投資信託追加型の収益分配金を受取る際、収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額は「元本の一部払戻しに相当する部分」として非課税扱われます。これを「元本払戻金（特別分配金）」といいます。
基 準 価 額	投資信託の値段のことです。投資信託に組み入れている株式や債券などをすべて時価評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこからファンドの運用に必要な費用などを差し引いて純資産総額を算出し、さらにその時の受益権口数で割ったものが「基準価額」であり、毎日算出されています。
信 託 報 酬	投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。信託財産の中から運用会社・信託銀行・証券会社など販売会社へ間接的に支払われます。その割合および額は目論見書や運用報告書の運用管理費用（信託報酬）の項目に記載されています。
騰 落 率	投資信託の過去の運用実績（基準価額の推移の動向）を示すもので、基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出します。ある一定期間中に投資信託の価値がどれだけ変化しているかを表します。例えば過去3ヶ月、6ヶ月、1年等、一定期間に基準価額がどの程度値上がり（または値下がり）したのかを表しています。

出所：一般社団法人投資信託協会等

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。